

令和4年12月9日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館ニューズレター

No. 297(2022年12月)

■クラウドファンディング「【第11弾】蘇る六代目の舞台、小津安二郎『鏡獅子』を次世代へ。」第1回目の初号試写会を開催しました

【第11弾】クラウドファンディングで進めていた、「鏡獅子」の4Kデジタル修復が完了し、先週12月2日金曜日に第1回目の初号試写会を行い、クラウドファンディングの5万円の支援者の方をご招待致しました。



株式会社松竹映像センター 五十嵐真常務(右)と当館主任司書 武藤祥子(左)の上映前トークイベントの様子

初号試写とは、完成した映像を実際にスクリーンに投影して確認を行い問題がないことを承認する重要な場で、関係者立ち会いのもとで行われるデジタル修復の最終段階です。つまり初号試写をもって「鏡獅子」4Kデジタル修復版が完成となります。今回の修復では英語版字幕と日本語版字幕も作成しましたので、今後日本語字幕版、英語字幕版の初号試写を行います。

試写会の詳しい様子は、全ての試写会の開催が終わりましたら、また改めてご報告致します。

本号では、このプロジェクトのデジタル修復作業について簡潔にご報告いたします。

【1. フィルムの選定作業】プロジェクト開始前に、株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービスさんにてフィルムの状態と内容の確認及びフィルムの選定という重要な作業を行いました。その結果、当館が所蔵する9組の『鏡獅子』フィルムの中で一番古く、様々な原因で劣化していた「1959年製フィルム」の映像が想像以上に綺麗であったため、このフィルムを基本素材とする事になりました。

【2. 画スキャン作業】フィルムを専用フィルムスキャナーでスキャンして4K解像度でデジタル変換するのが「画スキャン作業」です。1959年製フィルムは劣化が進んでいたため、株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービスさんの技術者の方がチェックを行い、見つかった問題箇所について修繕作業と細かいゴミを除去するクリーニングを行いました。また、フィルムに強いテンションをかけない状態で走行できる劣化対応スキャナーが使用され、通常よりも丁寧に収録されましたが、収縮の症状ははじまっており、1回のスキャンでは正しく画像をとらえきることができなかつたため複数スキャンを行い、デジタル上で編集をしてひとつのデータが作られました。

【3. 音スキャン作業】今回のデジタル化では、株式会社東京現像所さんで、アーカイブ専用のゾンダー(SONDOR)社のレゾナンス(Resonances)という装置で、まずサウンドトラック部分を画像としてスキャンし、そのデジタル画像をソフトウェアで瞬時にデジタル音声に変換する事で音声をデジタル化してもらいました。フィルム本体に変形と歪みが発生している場合、画像がぼけるのに伴い音もぼやけてしまうそうです。また、フィルムのつなぎ目で現像の濃度などの状態が変わる事があったり、継いだるフィルム自体が違っていたりする事もあるそうで、こうした変化も音声に影響を与えます。しかし、SONDOR RESONANCESでは、モニターでフィルムの映像を随時適正になるよう確認し、微調整を繰り返しながら作業が行えるため、画像の段階で補正して、より本来の音に近づけることが可能だそうです。

目次:

クラウドファンディング「【第11弾】蘇る六代目の舞台、小津安二郎『鏡獅子』を次世代へ。」第1回目の初号試写会を開催しました	1-2
第94回所蔵資料ミニ展示「近代の團十郎 九代目から十二代目の軌跡」関連資料ご紹介	2-3
資料提供	3
新着資料案内	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
休館のお知らせ	4
利用案内	4

【4. 音修復作業】今回の音修復の監修は、過去に小津安二郎監督作品ほか、数々の旧作のデジタル修復版を手がけた松竹映像センターの清水和法氏にご担当頂きました。『鏡獅子』は映像に映る長唄囃子連中の演奏が同時録音されていますが、清水氏によると予想以上に良い音が残っていたという印象を受けたそうです。音声のデジタル修復の場合、手作業による細かい修復を行う前に、まずフィルターでノイズを取り除いて効率的に作業をやすくします。フィルムは複製を重ねる度に音声も劣化してひずんでいってしまうので、手作業でひずみを修正して、余分な音を取り除きます。修復後は、最後に映画館と同じ環境で音を再生し、最終的な音の調整が行われました。

【5. 画修復作業】映像に残ったキズなどをデジタル技術で修復する画修復作業も株式会社松竹映像センターさんで行われました。まず、映像に生じた揺れや歪みや傾きを補正し横揺れや縦揺れをとめて映像を安定させるスタビライズといわれる画面の「揺れどめ」作業が行われました。また、1959年製フィルムはコマ飛びが多数発生していたため1973年製の別のフィルムから欠損箇所のコマを移植し挿入しました。続いて、画面の明暗の差によるチラつき(フリッカー)を除去するデフリッカーという処理を行い、そしてパラと呼ばれるフィルムに付いた傷やゴミをデジタル処理で消していく作業が行われました。その後、綺麗になった事ではじめに気が付かなかったものが見えてくる

ため、最終的に揺れ、歪み、フリッカー、パラ傷などまた全体的に整えます。その後、粒子を整えるグレイン処理で、視聴しやすしい映像になるように全体的に整えていきます。

【6. グレーディング作業】最後に、株式会社松竹映像センターさんで行われたグレーディングとは、映像コンテンツの制作過程で動画や静止画の輝度・色彩を調整する作業の事です。モノクロフィルムのデジタル修復作業の工程でも、経年劣化により明るさやコントラストにずれが生じた映像をデジタル上で補正する作業が必要となります。この作業の最終段階では、上映と同じようにスクリーンに映写してチェックしながら作業をします。今回の『鏡獅子』は、長年小津作品のデジタル修復のグレーディングに携わり、現在山田洋次監督作品の撮影を担当されている近森真史カメラマンに監修して頂きました。

以上、デジタル修復作業についてのご報告でした。

なお、プロジェクトページの新着情報でも詳しくご報告していますので下記URLまたはQRコードよりページをご覧ください。

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan11>

公式Facebookでも情報発信しております

<https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>



■第94回所蔵資料ミニ展示「近代の團十郎 九代目から十二代目の軌跡」関連資料ご紹介

閲覧室で開催中の所蔵資料ミニ展示「近代の團十郎 九代目から十二代目の軌跡」には連日、歌舞伎座「十三代目市川團十郎白猿襲名披露」公演ご観劇前後などに、たくさんの方に足を運んでいただいております。

今回の展示では、明治期の辻番付のなかでも「別番付」と呼ばれる、見どころとなる演目について出された番付を、展示替えを行いながらご覧いただいております。現在展示している資料は、『歌舞伎十八番の内 勸進帳』明治32[1899]年4月歌舞伎座上演の辻番付です。武蔵坊弁慶を九代目市川團十郎が、また富樫左衛門を五代目尾上菊五郎が初役で演じました。



辻番付
歌舞伎十八番の内 勸進帳
明治32年4月歌舞伎座上演

『勸進帳』は能の「安宅」を題材とした松羽目物で、歌舞伎十八番の内でも屈指の人気作品です。九代目團十郎が家の芸をさらに洗練させたことで、現在のような歌舞伎の代表作となりました。この明治32[1899]年4月の公演が九代目團十郎一世一代の弁慶です。絵看板や番付の挿絵を描いた鳥居派絵師の筆に

よるもので、弁慶の挿絵はシンプルで、どこか愛らしさも感じられます。

実は、当館の入口に貼りだしているミニ展示のお知らせポスターは、この辻番付をもとにしたものです。ご来館の際は、こちらにも注目していただけましたら幸いです。

なお展示はすでに終了してしまいましたが、12月1日まで展示していた『新歌舞伎十八番の内 紅葉狩』明治32[1899]年11月歌舞伎座上演の辻番付もご紹介いたします。



辻番付
新歌舞伎十八番の内 紅葉狩
明治32年11月歌舞伎座上演

『紅葉狩』は、明治20[1887]年10月新富座で初演された能『紅葉狩』を題材とする舞踊作品です。九代目團十郎が自ら振付し演じました。

こちらの番付の明治32[1899]年11月歌舞伎座上演の際には、九代目團十郎の更科姫実、戸隠山の鬼女、五代目尾上菊五郎の平惟茂という配役でした。番付には二人の名優の名前が並んでいます。

またこの興行において、当館もフィルムを所蔵する、日本人によって撮影された現存する最古の映画『紅葉狩』が撮影されたことも知られています。映画は興行終了後、歌舞伎座の裏にあった芝居茶屋梅林の空き地に仮設舞台を作って屋外で撮影されました。

今回ご紹介いたしました辻番付はご覧いただく機会が少ないため、ぜひ間近でじっくりご覧いただければと思います。ミニ展示「近代の團十郎 九代目から十二代目の軌跡」は、12月23日までです。なお展示はご予約なしでご覧いただけますが、台本やプログラム、図書などをお読みになりたい方は閲覧室内の

お席をおとりいたしますので、前日までに電話でのご予約をお願いいたします。皆さまのご来館をお待ちしております。

閲覧室ミニ展示「近代の團十郎 九代目から十二代目の軌跡」

展示期間：2022年10/28(金)～12/23(金)
 時間：平日10時～17時
 休館日：土日祝日、毎月最終木曜日
 展示場所：松竹大谷図書館 閲覧室
 ※現在、展示は予約なしでご覧いただけます。
 松竹大谷図書館
 TEL 03-5550-1694(平日：10時より17時)
<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

資料提供 (2022年10～11月)

※許可を得た方のみ掲載しております

- 【出版】『歌舞伎特選DVDコレクション第83号』2022年10月19日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に図書『歌舞伎のタテ』を提供／『歌舞伎特選DVDコレクション第85号』2022年11月16日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に雑誌『歌舞伎新報』を提供
- 【プログラム掲載】「坂東玉三郎特別公演」2022年10月御園座 『演劇界』より昭和51年3月南座『本朝廿四孝』・九世市川團十郎『本朝廿四孝』歌舞伎プロマイドを提供／「芸術祭十月大歌舞伎」2022年10月歌舞伎座 連載「松竹大谷図書館の名品」に歌舞伎記録映画『紅葉狩』『鏡獅子』『勸進帳』を提供／「猿若町発祥180年記念 十月大歌舞伎」2022年10月平成中村座 『綾の鼓』スチール写真を提供
- 【上映】特集上映「没後10年 女優・山田五十鈴」2022年11月26日～12月23日神保町シアター 映画『浪華悲歌』『祇園の姉妹』を提供

新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系11月演劇公演資料		○ … 受入済			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『祝成田櫓賑』	○	○		
	『外郎売』		○		
	『勸進帳』	○	○		
	『矢の根』	○	○	○	○
	『十三代目市川團十郎白猿八代目市川新之助襲名披露口上』		○		
新橋演舞場	『助六由縁江戸桜』		○		
	『薔薇とサムライ2』			○	○
平成中村座	『寿曾我対面』	○			
	『舞妓の花宴』				
	『新皿屋舗月雨暈 魚屋宗五郎』	○		○	
	『唐茄子屋 不思議国之若旦那』	○			
南座	『乗合船恵方萬歳』	○			
	『女の一生』	○		○	○
松竹座	『波濤を越えて』				
	『三浦祐太郎 10th Anniversary Tour 『AND YOU』』				
地方巡業	『中村獅童のHOW Toかぶき』			○	
	『あらしのよるに 一人語り』				

◆他社演劇公演資料 (2022年9月-11月) (順不同) conSept Musical Drama『SERI ひとつのいのち』 博品館劇場プログラム/朗読劇『幽玄朗読舞 SEIMEI 道成寺伝説より』 博品館劇場プログラム/海外招聘公演『ガラスの動物園』 新国立劇場中劇場プログラム/開場25周年記念公演『レオポルトシュタット』 国立劇場中劇場プログラム/『私の一ヶ月』 国立劇場小劇場プログラム/『アルキメデスの大戦』 シアタークリエプログラム/『ミュージカル ヘアスプレー』 東京建物 Brillia HALLプログラム/文学座『マニラ瑞穂記』 文学座アトリエプログラム/『ダイアナ』 劇場HOPEプログラム/ヨーロッパ企画『あんなに優しかったゴーレム』 あうるすぽっとプログラム/ほりぶん『一度しか』 三鷹市芸術文化センター星のホールプログラム/劇団道学先生『パリカンとダイヤ』 中野ザ・ポケットプログラム/ala Collection シリーズ『百日紅、午後四時』 吉祥寺シアタープログラム/はらぺこペンギン! 『OJISAN' S4』 赤坂RED/THEATERプログラム/モチロンプロデュース『阿修羅のごとく』 シアタートラムプログラム/庭劇団ベニ

ノ『笑顔の砦』 吉祥寺シアタープログラム/イキウメ『天の敵』 本多劇場プログラム/ペテカン『ピアノシモ』 シアタートップスプログラム/やみ・あがりシアター『Show me Shoot me』 三鷹市芸術文化センター星のホールプログラム/Sun-Mall studio produce『Crime4 ある視点』 サンモールスタジオプログラム/演劇集団『ソハ、福ノ倚ルトコロ』 吉祥寺シアタープログラム/西瓜糖『刺繍』 中野ザ・ポケットプログラム

◆映画資料 『ある男』 台本、プレス、ポスター、プログラム/『シスター 夏のわかれ道』 プログラム/『月の満ち欠け』 台本、ポスター、プログラム

◆映画プログラム (順不同) 『ドント・ウォーリー・ダーリン』『土を喰らう十二月』『あのこと』『第35回東京国際映画祭公式プログラム』『ブラックアダム』『奈落のマイホーム』『チケット・トゥ・パラダイス』『犯罪都市 THE ROUNDUP』『恋人はアンバー』『すずめの戸締まり』『ミセス・ハリス、パリへ行く』『ザリガニの鳴くところ』『ストレンジ・ワールド もうひとつの世界』『ブラックパンサー/ワカンダ・フォーエバー』『ファルコン&ウィンター・ソルジャー』

◆演劇雑誌 (順不同) 『AAC』 Vol. 114/ 『Confetti』 2022年December/ 『JPL』 No. 86/ 『the座』 116号/ 『あぜくら』 2022年11月号/ 『えんぶ』 2022年12月号/ 『がくげき』 大正15年創刊号, 9月号, 河合ダンスがくげき臨時特輯/ 『ほうおう』 2023年1月号/ 『ステージぴあ』 2022年11+12月号/ 『テアトロ』 2022年12月号/ 『ミュージカル』 2022年11月-12月号/ 『ラ・アルプ』 2022年12月号/ 『歌舞伎 研究と批評』 67号/ 『河合ダンスグラフィック』 1930年1輯/ 『喝采』 2023年2月号, 3月号/ 『劇評』 令和4(2022)年11月/ 『国立演芸場公演ガイド』 令和4年12月号/ 『嶋の亟だより』 61号, 2023年カレンダー/ 『日本芸術文化振興会ニュース』 2022年12月号/ 『日本照明家協会誌』 2022年11月号/ 『日本舞踊』 74巻12月号/ 『邦楽の友』 令和4年12月号

◆映画雑誌 (順不同) 『SCREEN』 2023年1月号/ 『TVガイド』 2022年11/4号, 11/11号, 11/18号, 11/25号, 12/2号/ 『おとなのデジタルTVナビ』 2023年1月号/ 『キネマ旬報』 2022年12月上旬号, 12月下旬号, 増刊キネマ旬報NEXT Vol. 46/ 『シナリオ』 2023年1月号/ 『シナリオ教室』 2022年12月号/ 『スタア』 昭和8年8月上旬号, 昭和9年11月下旬号, 昭和11年9月上旬号, 昭和14年10月下旬号, 昭和15年5月上旬号, 6月下旬号, 7月上旬号, 7月下旬号, 8月上旬号, 8月下旬号, 9月上旬号/ 『ドラマ』 2022年12月号/ 『ロケーションジャパン』 2022年12月号/ 『映画芸術』 481号/ 『映画撮影』 No. 233/ 『映画時報』 2022年11月号/ 『映画論叢』 61号/ 『松竹[社報]』 232号/ 『日経エンタテインメント!』 2022年12月号/ 『藝能画報』 1955年1月号-6月号

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和4[2022]年11月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくご申し上げます。

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせて頂いております。

《現在のご利用について》(※2022年10月3日改定)

- 開館時間 10:00~17:00
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。
当日のご利用は、閲覧席に空きがある場合のみ承ります。
松竹大谷図書館 03(5550)1694(平日10時~17時)
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。
- ご利用の際は引き続きマスクの着用と手指の消毒をお願い致します。

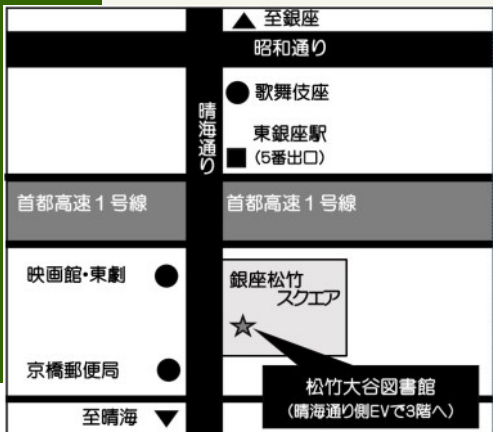
《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でのご予約制になります。
- ★お名前、人数、ご希望日時(○月○日○時より○時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★ご同伴者はお一人までで、出来るだけお一人での来館をお願い致します。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索: <https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら: <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani=toshokan/news/220606.html>

年末年始休館のお知らせ
令和4年12月24日(土)より
令和5年1月10日(火)まで
令和5年1月11日(水)より開館いたします



- 利用案内●[開館時間]平日10:00~17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
[入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担)但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP● <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>
公式Facebook● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>